



多気北畠氏城館跡

国史跡多気北畠氏城館跡は、伊勢国司北畠氏の居館と山城の総称です。美杉地域の多気地区に所在し、15世紀前半に築られました。

北畠氏が住まいとした居館である北畠氏館跡は、現在の北畠神社境内付近に当たります。その一部が今も北畠氏館跡庭園として現存しており、紅葉の名所として知られています。

標高約320mにある北畠氏館跡の背後には、標高約400mのところに詰城跡、さらに標高約560mの山頂付近に霧山城跡があります。北畠神社の朱塗りの鳥居を後にして山に向かうと、北畠氏館跡庭園の裏手に登山口が現れます。

急峻な山道を15分ほど登ると、詰城跡に到着。北畠氏館跡の真上にある詰城跡からは、八手俣川対岸にあり地元では「東御所跡」と呼ばれている六田館跡など、多気の城下を望むことができます。詰城跡の脇を通過して、さらに山道を30分ほど登っていくと、ようやく霧山城跡にたどりつきます。霧山城跡は二つの曲輪群からなる山城で、今も曲輪の周辺には土塁や堀切が残っています。

現在、北畠氏館跡から霧山城跡までの道のりは、津市森林セラピー基地の「霧山コース」の



詰城跡から城下を望む

一部に指定されています。美杉ふるさと資料館を起点に霧山城跡までを往復する、高低差約240m、片道約1,700mのコースが遊歩道として整備されています。

また、美杉ふるさと資料館では12月27日(木)まで、霧山城跡をはじめ多気北畠氏遺跡で実施した地形測量調査の成果を展示しています。城跡や寺院跡などの測量図を通して、16世紀まで続いた北畠氏の栄華をたどってみてはいかがでしょうか。

美杉ふるさと資料館

開館時間 9時～17時(入館は16時まで)

休館日 毎週月曜日(月曜日が祝・休日の場合はその翌日)

